

【意見】

近年騒がれております、消防団員の減少についてですが、これは消防団員を募集する自治会に入団を希望する若い世代がいらないことにあります。消防団とは本来、自分の地元は自分達が守るの精神で、ほぼボランティアで活動する、沼田市(区単位)の消防団です。つまり本来はその地域・地区に住所がある又はその地域・地区に働いている方が消防団に入るべきではないでしょうか？良く考えてみてください！消防団(部)とは自治会(区)の消防団(部)です。

そこでご提案です。消防団に入団するメリットを作ってはどうか？(これは自治会単位でも良いと思います。)

例えば

- 1 消防団入団者(本人)と扶養家族の医療費は無料。(勤続15年以上の分団長・部長経験者OBも含む。)
- 2 消防団入団者(本人)と扶養家族の税金は半額になる。(勤続15年以上の分団長・部長経験者OBも含む。)
- 3 消防団入団者(本人)と扶養家族の小・中・高の学費は公立・私立関係なく、沼田市内にすんでる人は、50～100%補助される。
- 4 消防団入団者(本人)と勤続15年以上の分団長・部長経験者OBには、沼田市内に限り住宅(店舗含む)新築又はリフォーム(改修・改築・増築含む)工事を行う場合、最大200万円の補助を受けられる。
- 5 消防団入団者(本人)と勤続15年以上の分団長・部長経験者OBには、沼田市内の空き家を購入してリフォームする場合、購入代金及び工事費の最大30%の補助を受けられる。
- 6 消防団に協力している沼田市内の事業者を優先的に沼田市の事業に参入させる。

まだまだ色々ありますが、このくらいすれば、若い方に選ばる沼田市になるのでは、ないでしょうか？

予算的にも多々問題はあるでしょうが、あくまでも住民あつての沼田市ですので、人を呼ぶことを考えていかないと、自治会の解散～町の限界～市の限界になってしまいうでしょう！

沼田市内に活力を！白沢・利根に観光を！

消防団のシステムを改造して、皆様が選びやすい町造りを考えていただけませんか？

若い人がいなければ、消防団は成り立ちません。いずれ出初めも競技会も40歳～60歳のオヤジだらけになりますよ。

是非とも 早急なご検討をお願いいたします。

男性40代：市内在住

【回答】

ご指摘のとおり、全国的に消防団員は減少傾向にあり、団員確保に苦慮している状況にあります。かつて消防団は、自分の街は自分たちで守るといったボランティア精神のもと、一致団結して活発な活動が行われてきましたが、時代の変化と共に消防団員の意識も変わってきているかと推察されます。このような時代の変化を背景に、近年では「消防団応援の店」事業など消防団員への優遇サービス提供により、団員の確保・増強を図る施策が展開されています。

ご提案いただきました入団メリットの案は、団員確保のきっかけとしては効果的であると思いますが、団員に対する過剰な優遇措置は、消防団本来の目的が失われてしまうことが危惧されることについても、ご理解いただきたいと存じます。

担当：総務部防災対策課消防係